

都市再生整備計画 事後評価シート
【原案】

古賀市地区

平成30年1月

福岡県古賀市

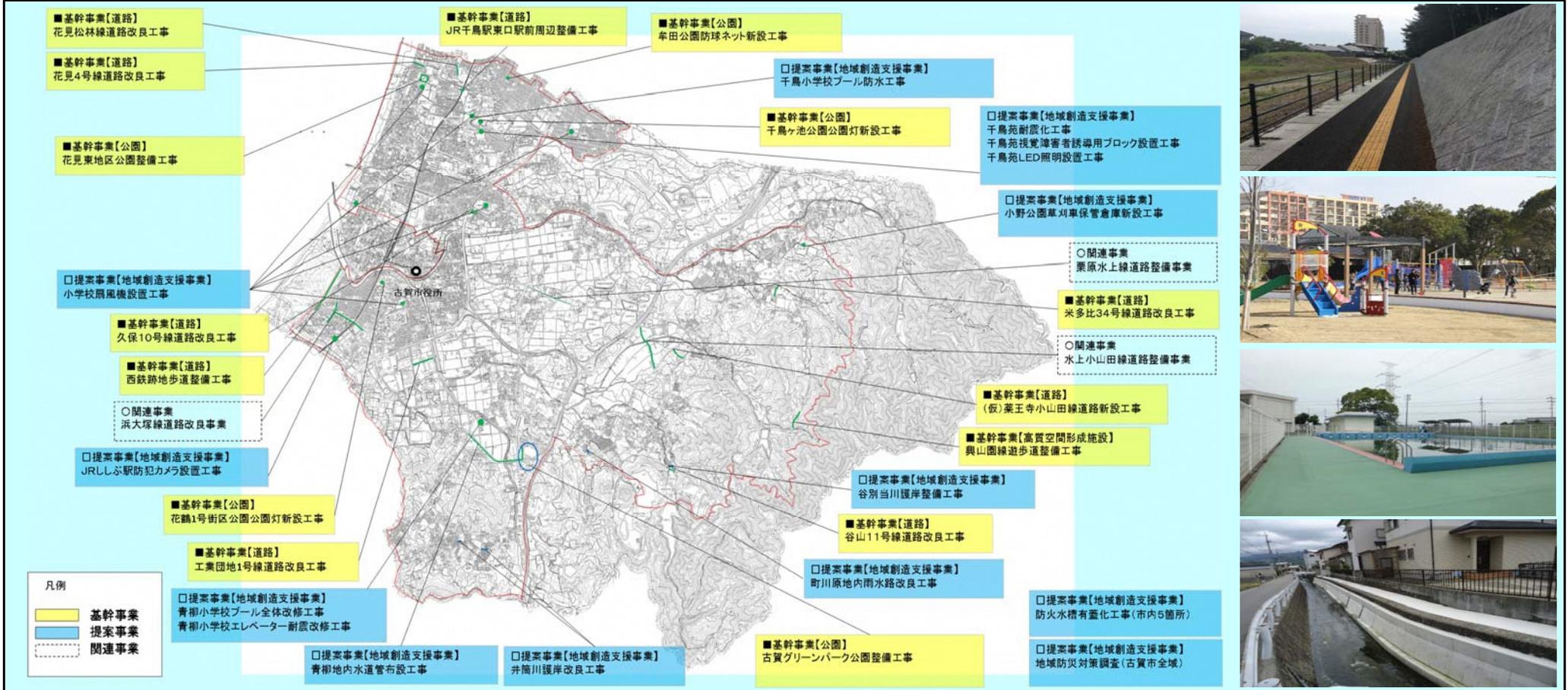
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	古賀市		地区名	古賀市地区			面積	2,535ha	
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	1,131.8	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】米多比34号線道路改良工事、西鉄跡地歩道整備工事、(仮)葉王寺小山田線道路新設工事、谷山11号線道路改良工事、久保10号線道路改良工事、花見4号線道路改良工事、花見松林線道路改良工事、工業団地1号線道路改良工事 【公園】古賀グリーンパーク公園整備工事、花見東地区公園整備工事 【高質空間形成施設】興山園線遊歩道整備工事									
		提案事業	【地域創造支援事業】青柳小学校プール全体改修工事、千鳥小学校プール防水工事、青柳小学校エレベーター耐震改修工事、小学校扇風機設置工事、千鳥苑耐震化工事、千鳥苑視覚障害者誘導用ブロック設置工事、青柳地内水道管布設工事、町川原地内雨水路改良工事、谷別当川護岸整備工事、井筒川護岸改良工事、地域防災対策調査、防火水槽有蓋化工事、JRしほ駅防犯カメラ設置工事 【事業活用調査】事業効果調査事業									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】古賀68号線道路改良工事、 【地域生活基盤施設】花見東地区公園備蓄倉庫整備工事	事業の削減による変更		影響なし						
		提案事業	【地域創造支援事業】防風保安林改良事業 【まちづくり活動推進事業】まつり古賀事業	事業の削減による変更		影響なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】JR千鳥駅東口駅前周辺整備工事 【公園】千鳥ヶ池公園公園灯新設工事、花鶴1号街区公園公園灯新設工事、牟田公園防球ネット新設工事	地域の要望を踏まえた事業追加		JR千鳥駅東口駅前周辺整備工事では、当初は事業実施までを想定していたが、設計のみの実施に留まることで、第二回計画変更時に数値指標1を変更						
		提案事業	【地域創造支援事業】千鳥苑LED照明設置工事、小野公園草刈車保管倉庫新設工事	地域の要望を踏まえた事業追加		影響なし						
交付期間の変更	当初	平成25年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	アンケート調査による古賀市の住みやすさに対する「住みやすし」と答えた人の割合	%	56.1 平成19年度	59.0 平成29年度	56.3	55.9	△	あり なし ●	事業実施により安全・安心に暮らせる都市の形成に寄与したが、指標は従前値からほぼ横ばいの結果となった。		平成32年度
指標2	古賀グリーンパークの利用者数	人/年度	93,690 平成23年度	96,500 平成29年度		96,531	○	あり なし	スケートパークに初心者コースを新設し、子どもや初心者を対象とした教室等を開催、競技の裾野を広げることができた。		平成30年度	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	古賀グリーンパークを利用したイベント参加者数	人/年度	18,338 平成24年度			33,751			古賀グリーンパークの排水機能向上により、年間を通じて利用者が快適な状態でグラウンドを利用できるようになった。		平成30年度	
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	平成27年度における市民アンケート調査(18歳以上の市民2,500人対象)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				期間の途中で住民の意見を確認することができた。モニタリング同様毎年度の本市統計書により確認する。				
	住民参加プロセス	平成26年度～27年度に基幹事業である花見東地区公園整備工事において、住民参加型ワークショップによる公園機能・整備施設の立案を実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				住民参加型ワークショップを行うことで、より住民のニーズに合った立案が挙げた。今後も住民の意見を聞いて、利用促進を図る。				
	持続的なまちづくり体制の構築	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

古賀市地区地区(福岡県古賀市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:「つながり にぎわう 快適安心都市 こが」の実現に向けた取組 目標1: 学校教育の充実や高齢者・障がい者の社会参加の支援に取り組み、つながりあるまちづくりの形成を図る。 目標2: 地域資源を活かした商工業や観光の活性化を図り、にぎわいのあるまちづくりを推進する。 目標3: 安全で安心して暮らせる快適安心都市の形成を図るために防災・防犯体制の強化や生活基盤整備を推進する。	アンケート調査による古賀市の住みやすさに「住みやすい」と答えた人の割合 古賀グリーンパークの利用者数	56.1 H19 93,690 H23	59.0 H29 96,500 H29	55.9 H29 96,531 H29



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 公園の新設や、学校施設などの改修工事により、個々の施設の満足度は上がった。 上記に伴って公園の利用率は上がった。 道路の新設、拡幅の工事により移動の便や安全性も向上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ヒアリングの結果から、住みやすいまちの満足度が目標に達していないので住民の意見を取り入れ、引き続き改善を図る。 特定の地域の住民からの満足度が低い傾向も見受けられることから、原因を解明し、改善に努める。 駅を中心に活性化を行い、発展に繋げる。 新設・改修工事を行った公園等の更なる活用を図る。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 都市再生整備計画事後評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●		地域産業活性化イベント来場者数	削除	提案事業「まちづくり活動推進事業:まつり古賀事業」削除に伴う
C. 目標値	●		地域産業活性化イベント来場者数 44,000人	削除	提案事業「まちづくり活動推進事業:まつり古賀事業」削除に伴う
			古賀市の住みやすさに対する「住みやすい」と答えた人の割合:60.0%	古賀市の住みやすさに対する「住みやすい」と答えた人の割合:59.0%	基幹事業(道路)の2事業が設計のみで整備まで至らないことから、第二回計画変更で目標値を変更。
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	米多比34号線道路改良工事	21.0	L=138m	21.0	L=138m	なし	—	●	
	西鉄跡地歩道整備工事	57.0	L=700m	103.0	L=700m	事業費の増額による変更	影響なし	●	
	(仮)薬王寺小山田線道路新設工事	93.0	L=250m	187.0	L=175m		影響なし		平成30年3月
	谷山11号線道路改良工事	6.0	L=30m	3.0	L=23m	事業費精査による変更	影響なし	●	
	久保10号線道路改良工事	7.0	L=107m	7.0	L=107m	なし	—	●	
	花見4号線道路改良工事	12.0	L=150m	12.0	L=150m	なし	—	●	
	花見松林線道路改良工事	31.8	L=120m	3.0	L=160m	事業費の減額による変更	当初は事業実施までを想定していたが、設計のみの実施に留まることで、第二回計画変更時に数値指標1を変更。	●	
	工業団地1号線道路改良工事	97.0	L=300m	111.0	L=300m	事業費の増額による変更	影響なし		平成30年3月
	JR千鳥駅東口駅前周辺整備工事	—	なし	7.0	A=1,850㎡, L=110m	事業の追加による変更及び 事業費の減額による変更	当初は事業実施までを想定していたが、設計のみの実施に留まることで、第二回計画変更時に数値指標1を変更。	●	
	古賀68号線道路改良工事	3.0	L=220m	—	なし	事業の削除による変更	影響なし	—	
公園	古賀グリーンパーク公園整備工事	14.3	L=170m, A=2,000㎡	17.3	L=170m, A=15,000㎡, 200㎡	事業費の増額による変更	影響なし	●	
	花見東地区公園整備工事	424.7	A=0.67ha	424.7	A=0.67ha	なし	影響なし	●	
	千鳥ヶ池公園公園灯新設工事	—	なし	0.3	公園灯 1基	事業の追加による変更	影響なし	●	
	花鶴1号街区公園公園灯新設工事	—	なし	0.3	公園灯 1基	事業の追加による変更	影響なし	●	
	牟田公園防球ネット新設工事	—	なし	0.3	L=10m	事業の追加による変更	影響なし	●	
高質空間形成施設	興山園線遊歩道整備工事	9.0	L=145m	5.0	L=145m	事業費精査による変更	影響なし	●	
地域生活基盤施設	花見東地区公園備蓄倉庫整備工事	2.3	1棟 34㎡	—	なし	事業の削除による変更	影響なし	—	
合計		778.1		901.9					

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	青柳小学校プール全体改修工事	44.8	2槽	44.8	2槽	なし	影響なし	●	
	千鳥小学校プール防水工事	14.5	2槽	14.5	2槽	なし	影響なし	●	
	青柳小学校エレベーター耐震改修工事	22.7	1基	22.7	1基	なし	影響なし	●	
	小学校扇風機設置工事	24.7	6校	24.7	6校	なし	影響なし	●	
	千鳥苑耐震化工事	3.0	一式	3.0	一式	なし	影響なし	●	
	千鳥苑視覚障害者誘導用ブロック設置工事	0.9	L=138m	0.9	L=138m	なし	影響なし	●	
	千鳥苑LED照明設置工事	—	なし	6.0	一式	事業の追加による変更	影響なし	●	
	青柳地内水道管布設工事	81.0	L=630m	53.0	L=630m	事業費の減額による変更	影響なし	●	
	町川原地内雨水路改良工事	3.0	L=8m	3.0	L=8m	なし	影響なし	●	
	谷別当川護岸整備工事	7.0	L=22m	7.0	L=30m	施工箇所延長の増による変更	影響なし	●	
	井筒川護岸改良工事	64.0	L=131m	23.0	L=131m	事業費の減額による変更	影響なし	●	
	地域防災対策調査	11.0	一式	11.0	一式	なし	影響なし	●	
	防火水槽有蓋化工事	14.0	5箇所	14.0	5箇所	なし	影響なし	●	
	JRしず駅防犯カメラ設置工事	0.9	4基	0.9	5基	設置数の増による変更	影響なし	●	
	小野公園草刈車保管倉庫新設工事	—	なし	0.4	A=2㎡	事業の追加による変更	影響なし	●	
	防風保安林改良事業	4.8	L=2,200m	—	なし	事業の削除による変更	影響なし	—	
事業活用調査	事業効果調査事業	1.0	一式	1.0	一式	なし	影響なし		平成30年3月
まちづくり 活動推進事業	まつり古賀事業	1.0	一式	—	なし	事業の削除による変更	影響なし	—	
合計		298.3		229.9					

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
栗原水上線道路整備事業		庄・新原・筵内地区	279	279	H20～H26	H20～H26	事業完了	
水上小山田線道路整備事業		薬王寺地区	75	75	H26～H27	H26～H27	事業完了	
浜大塚線道路改良事業		日吉・花鶴地区	2,349	2,349	H14～H29	H14～H29	事業継続中 (H14～H33)	
合計			2,703	2,703				

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
			基準 年度		基準 年度	基準 年度	目標 年度					あり	なし			
指標1	%	市民アンケート(18歳以上の市民2,000人対象)を実施し、「従前値」の計測手法(設問)と同様により計測する。 事後評価時点では、住みやすさに関連する一部道路改良事業が竣工しないことから、計測時点における全事業の効果を計測することが困難となる。そのため、平成29年7月時点でのアンケート調査結果では評価値(見込み)とする。	-		56.1	H19	59.0	H29	モニタリング	H27	56.3	モニタリング	△			●
									事後評価	確定 見込み ●	55.9	事後評価	×			
指標2	人/年度	公園管理者による毎月の利用者集計を基に計測を行う。 事後評価時点では9月末までの実績値と過去の傾向から評価基準日(3/31)の利用者数を推計し、評価値(見込み)とする。	150,440	H13	93,690	H23	96,500	H29	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 見込み ●	96,531	事後評価	○			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	従前値に対してモニタリング時点では僅かな上昇を見せていたが、事業評価時の結果では従前値を下回り、目標値を達成できなかった。地区別傾向から郊外部での評価が全体的に低い結果が示されていた。	事後評価時点で一部事業が未竣工のため、平成32年度にフォローアップを実施し検証を行う。
指標2	平成23年度(従前値)以降、各年度で増減が見られていた。平成29年度は4月～9月は確定値、10月～3月は推計値(過去5箇年の月別平均値)で試算した結果、目標値を若干上回る結果となった。	今回は推計値での評価であることから、次年度確定値によりフォローアップを実施し検証を行う。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
					基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	古賀グリーンパークを利用したイベント参加者数	人/年度	公園管理者の予約結果及び主催者発表人数を基にイベント参加者数を把握	-		18,338	H24	モニタリング			本事業の実施に伴う効果として、グリーンパーク等を利用したイベント参加者の増加が見られるため本指標を採用。	今回は推計値での評価であることから、次年度確定値によりフォローアップを行う。
								事後評価	確定見込み ●	33,751		
その他の 数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定見込み			
その他の 数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
平成27年度における市民アンケート調査 (18歳以上の市民2,500人対象)	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した ● 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】1回 【実施時期】平成27年6月 【実施結果】 配布数:2,500、回収数(回収率):974(39.0%) 住みやすいと回答した割合は従前値から若干上昇(56.1%→56.3%)。	平成32年度フォローアップ実施を予定しており、同様の調査を実施予定。
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
花見東地区公園整備工事における、住民参加型ワークショップ	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した ● 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】1回 【実施時期】平成26年度～平成27年度 【実施結果】 住民参加型ワークショップを通じて公園機能・施設を立案。	特になし
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内関連部署ヒアリング	建設課、都市計画課、教育総務課 福祉課、総務課	平成 29 年 10 月	総務部経営企画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2	その他の数値指標1		
指標名		古賀グリーンパークの利用者数		古賀グリーンパークを利用したイベント参加者数	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	米多比34号線道路改良工事	-	スケートパークに初心者コースを新設したことで、子どもや初心者を対象としたスケボー、インライン、BMXの初心者教室を開催することができるようになった。また、教室開催を通じて、これらの競技の裾野を広げることができた。公園敷地内の井戸水を上水に切り替えることができたことで、水質の安全確保、水量の安定供給が可能となった。このことにより、グリーンパーク内のスポーツ施設等の安定運営にも寄与することができた。	-	古賀グリーンパークのグラウンド表土緩傷整備を実施したことにより、多目的グラウンドの排水機能が向上した。このことにより、年間を通じての各種イベントや体育行事等の実施時に、利用者が快適な状態でグラウンドを利用できるようになった。
	西鉄跡地報道整備工事	-			
	(仮)薬王寺小山田線道路新設工事	-			
	谷山11号線道路改良工事	-			
	久保10号線道路改良工事	-			
	花見4号線道路改良工事	-			
	花見松林線道路改良工事	-			
	工業団地1号線道路改良工事	-			
	JR千鳥駅東口駅前周辺整備工事	-			
	古賀グリーンパーク公園整備工事	◎			
	花見東地区公園整備工事	-			
	千鳥ヶ池公園公園灯新設工事	-			
	花鶴1号街区公園公園灯新設工事	-			
	傘田公園防球ネット新設工事	-			
興山園線遊歩道整備工事	-				
提案事業	青柳小学校プール全体改修工事	-		-	
	千鳥小学校プール防水工事	-		-	
	青柳小学校エレベーター耐震改修工事	-		-	
	小学校扇風機設置工事	-		-	
	千鳥苑耐震化工事	-		-	
	千鳥苑視覚障害者誘導用ブロック設置工事	-		-	
	千鳥苑LED照明設置工事	-		-	
	青柳地内水道管布設工事	◎		◎	
	町川原地内雨水路改良工事	-		-	
	谷別当川護岸整備工事	-		-	
	井筒川護岸改良工事	-		-	
	地域防災対策調査	-		-	
防火水槽有蓋化工事	-		-		
JRしづ駅防犯カメラ設置工事	-		-		
小野公園草刈車保管倉庫新設工事	-		-		
関連事業					

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	公園利用者が快適に使用できる施設を目指して、指定管理者とも連携を図りながら利用促進に努めるほか、老朽化した施設改修を進める。	施設活用の更なる活性化を図るため、活用に向けた情報発信等を充実させる。
-------	--	-------------------------------------

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1					
指標名		アンケート調査による古賀市の住みやすさに対する「住みやすい」と答えた人の割合					
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	米多比34号線道路改良工事	△	今回の都市再生整備事業では、基幹整備として道路事業、公園事業のほか、高質空間形成施設として遊歩道整備を実施。提案事業として小学校の施設改修、福祉施設の耐震化や施設改修、河川護岸改良、防災対策事業等、市域でも緊急性や老朽化、利用者ニーズが高い多様な事業を実施した。対象事業の実施により安全・安心に暮らせる都市の形成に寄与したと考えるが、指標とした「住みやすさ」は従前値からほぼ横ばいの結果となった。	IV			
	西鉄跡地報道整備工事	△					
	(仮)薬王寺小山田線道路新設工事	×					
	谷山11号線道路改良工事	△					
	久保10号線道路改良工事	△					
	花見4号線道路改良工事	△					
	花見松林線道路改良工事	×					
	工業団地1号線道路改良工事	×					
	JR千鳥駅東口駅前周辺整備工事	×					
	古賀グリーンパーク公園整備工事	△					
	花見東地区公園整備工事	△					
	千鳥ヶ池公園公園灯新設工事	△					
	花鶴1号街区公園公園灯新設工事	△					
	牟田公園防球ネット新設工事	△					
興山園線遊歩道整備工事	△						
提案事業	青柳小学校プール全体改修工事	△					
	千鳥小学校プール防水工事	△					
	青柳小学校エレベーター耐震改修工事	△					
	小学校扇風機設置工事	△					
	千鳥苑耐震化工事	△					
	千鳥苑視覚障害者誘導用ブロック設置工事	△					
	千鳥苑LED照明設置工事	△					
	青柳地内水道管布設工事	△					
	町川原地内雨水路改良工事	△					
	谷別当川護岸整備工事	△					
	井筒川護岸改良工事	△					
	地域防災対策調査	△					
	防火水槽有蓋化工事	△					
JRしじふ駅防犯カメラ設置工事	△						
小野公園草刈車保管倉庫新設工事	△						
関連事業							

※目標未達成への影響度

- × ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- 一：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	今回の対象事業の外にも、市内には市民ニーズが高い道路基盤整備や、公園、小中学校、福祉施設等の長寿命化対策等の課題が残されており、引き続き市民ニーズに沿った整備が求められる。また、防災対策では今回作成した総合防災マップを活用し、市民に更なる防災意識の向上を推進していくことが求められており、防犯カメラ設置については今後も警察と連携し犯罪抑止に取り組むことが求められる。
------------------	---

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内ヒアリング	建設課、都市計画課、教育総務課 福祉課、総務課	平成 29 年 10 月	総務部経営企画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
学校教育の充実や高齢者・障がい者の社会参加の支援に取り組み、つながりあるまちづくりの形成	<ul style="list-style-type: none"> 千鳥苑耐震化工事・千鳥苑LED証明設置工事を実施したことにより、高齢者をはじめとした利用者が安心して施設を利用できるようになり、地域福祉の拠点施設として再整備できた。また、千鳥苑は古賀特別支援学校の通学路にもなっており、千鳥苑に視覚障害者誘導用ブロック設置工事を実施したことで、学校教育の充実や障がい児の社会参加の支援に寄与した。 小学校施設が老朽化し、授業等に支障が出ていたが改善が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画事業で実施した箇所以外にも施設内の不具合箇所があるため、現在の千鳥苑の機能を維持しながら安全面を配慮した維持改修等を進めていくことが必要である。 今回の事業を実施した学校施設は改善が図られたが、他の施設の長寿命化を見据えた老朽改修が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 千鳥苑内で一部分LED化されていない箇所もあり、されていない箇所についてはもLED化を検討していく必要がある。 市内の施設は全体的にも老朽化が進んでおり、長寿命化に向けて計画的な長寿命化を見据えた老朽化対策の改修が必要である
地域資源を活かした商工業や観光の活性化を図り、にぎわいあるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 道路交通網の整備進捗により、商工業の活性化に寄与した。また、興山園線遊歩道の整備やグリーンパークへの上水道敷設の実現により観光資源の有効活用への道を拓くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> グリーンパーク内の農産物直売所は建築後一定年数が経過しており、今後の活用・長寿命化等について総合的に検討とする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
安全で安心して暮らせる快適安心都市の形成を図るために防災・防犯体制の強化や生活基盤を推進	<ul style="list-style-type: none"> 道路新設や改良、そして河川の改修など、防災体制として道路・河川環境の向上が図られた。 公園の少ない花見東地区に住民憩いの場や一時避難所としての公園を新設することができた。その他の対象公園においては、公園灯やネットフェンスの設置により安全性が高まった。 地域防災対策調査により、地域防災計画への反映や総合防災マップの作製を行うことができた。また、薬王寺の防火水槽有蓋化工事や鹿部駅の防犯カメラ設置工事により、防災・防犯体制の強化が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 千鳥駅周辺警備は、通勤・通学者の安全性や利便性の向上が求められており、薬王寺及び小山田区では、通学児童の安全確保のため、大型車両のバイパス道路構造が求められている。 今回対象以外の公園についても、施設老朽化や、公園樹の成長による高木化による透過性減少や周辺住宅や道路への越境等の問題があり、市内公園の全体的な改良または、改修工事が求められている。 市内には、未だ有蓋化していない防火水槽があり、児童等の転落防止を図る必要がある。犯罪の発生件数は減少しているが、更なる取り組みを検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 千鳥駅周辺整備は、土地買収交渉でなかなか地権者の協力が得られない。 公園遊具はこれまで子どもを対象としたものが主流であったが今後の少子高齢化を見据えて、高齢者を対象とした健康遊具等の設置を検討していく必要がある。 総合防災マップの作製、配布を行うことができたが、その内容の理解を深める必要がある。必要性に応じた防火水槽の有蓋化工事や防犯カメラ設置工事の計画的実施が課題である。

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	・今回整備を行った道路、河川、公園等の適切な維持管理を実施するとともに、社会福祉センター「千鳥苑」は指定管理者と連携し、今後も地域福祉の拠点として利用できるよう施設の維持管理に努める。	・道路、河川及びそれらに付随する構造物の管理(保守点検)と維持補修、更新等を種別に行っていく。また、公園の定期的・臨時的維持補修を実施する。千鳥苑は指定管理者と連携し、老朽化した不具合箇所については優先順位を決めながら改修を進める。	・道路や河川は点検または調査事業、修繕または改修工事、道路拡幅事業、新規道路構造事業、公園施設改修工事事業、千鳥苑老朽改修等
・今回実施した防災対策は引き続き他地域への展開を図る。	・地域防災対策調査、防火水槽有蓋化工事、防犯カメラ設置工事を計画的に実施する。	・地域防災対策調査、防火水槽有蓋化工事、防犯カメラ設置工事	

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	駅前整備用地交渉の説得方法や交渉条件の再検討、基本計画の見直し。	・駅前整備については、市のスタンスを保持しつつ継続的に粘りづよく交渉を行う。	・市街地再開発事業
	公園灯のLED化、公園樹の剪定・植替え、公園土壌の入れ替え、公園遊具の更新、公園施設の改修。	・毎年度、一定規模の公園施設改修工事の実施。	・公園施設改修工事
	指定管理者と連携し、施設の不具合箇所を把握する必要がある。	・指定管理者と連携し、千鳥苑が地域福祉の拠点として利用できるよう、老朽化した不具合箇所については優先順位を決めながら改修等していく必要がある。	・施設の老朽改修工事
	学校施設の長寿命化の視点を取り入れた改修。	・今年度策定する「学校施設長寿命化計画」に則り、計画的に改修を推進。	・学校施設の老朽改修工事
防火水槽有蓋化や防犯カメラ未設置地区への事業展開。	・地域防災対策調査、防火水槽有蓋化工事、防犯カメラ設置工事の計画的実施。	・地域防災対策調査、防火水槽有蓋化工事、防犯カメラ設置工事	

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・千鳥駅前整備は、計画内容(範囲や構造など)の変更が困難な上に、地権者が限定されている。この事業の懸念は用地取得ができるかどうかにかかっており、地権者の意向が市の提示する条件と乖離しているが、特例的に処理可能な条件の検討、さらにその方法に対して地権者が納得するかが問題となってくる。いずれにしても時間がかかる事案と思われる。

・公園の植栽管理については住民要望が多く、満足度を高めるためには、外部委託や工事発注を中心とした対応から、公園管理センターの充実による植栽実施が効果的ではないだろうか。

・福祉センターは、将来的に類似施設との統廃合をふまえて千鳥苑の在り方を検討していくことが必要である。

・総合防災マップは全戸配布しているが、出前講座などで周知を図っていくことが考えられる。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み		あり	なし	予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	古賀市の住みやすさに対する「住みやすい」と答えた人の割合	%	56.1	H19	59.0	H29	確定	●	55.9	×	あり	●	平成32年度	第5次古賀市総合振興計画策定時に、従前値と同様の市民アンケート調査を実施し確定値を計測する。	
指標2	古賀グリーンパークの利用者数	人/年度	93,690	H23	96,500	H29	確定	●	96,531	○	あり	●	平成30年度	公園管理者による毎月の利用者集計を基に平成29年度実績の確定値を計測する。	
その他の数値指標1	古賀グリーンパークを利用したイベント参加者数	人/年度	18,338	H24			確定	●	33,751				平成30年度	公園管理者による毎月の利用者集計を基に平成29年度実績の確定値を計測する。	

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		事業内容(実施箇所や受益者)をふまえた数値目標の設定
	うまくいかなかった点	住みやすさ指標の結果において、特定の校区における満足度が低い状況も見受けられたことから、目標達成に至らなかったと考える。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	目標を定量化する指標のうち公園利用者数は、施設管理者により継続的に数値が整理されており、事業評価の効率化が図られた。	事業目的をふまえた把握しやすい指標設定
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

- ◆今後のまちづくり交付金の活用予定
なし
- ◆今後、事後評価を予定する地区
なし

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市公式ホームページに掲載	平成30年1月9日～2月7日 (予定)	平成30年1月9日～2月7日 (予定)	担当課への持参、郵送、FAX、メール	総務部経営企画課
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他	市内公共施設7カ所での閲覧	平成30年1月9日～2月7日 (予定)	平成30年1月9日～2月7日 (予定)		

住民の意見	
-------	--

(6) 都市再生整備計画事後評価委員会の審議

添付様式8 都市再生整備計画事後評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員		平成30年1月以降	教育部教育総務課 総務部経営企画課	古賀市社会資本総合整備 計画評価委員会要綱	
その他の委員					

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等 にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、 委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、都市再生整備計画事後評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
—	—	—
—	—	—

有識者の意見	—
--------	---